

子育てに温かい社会づくり・機運醸成事業「こどもまんなかクエスト2023」参加者アンケート

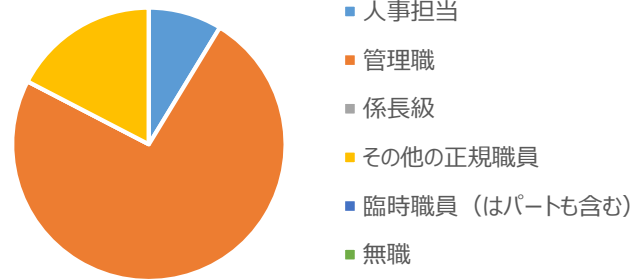
☆アンケートについて☆

- (1)実施日： 令和5年11月18日(土)
(2)回答数： 23

☆回答者の性質☆

性別	男性	19
	女性	4

会社での立場	人事担当	2
	管理職	17
	係長級	0
	その他の正規職員	4
	臨時職員 (パートも含む)	0



★まとめ★

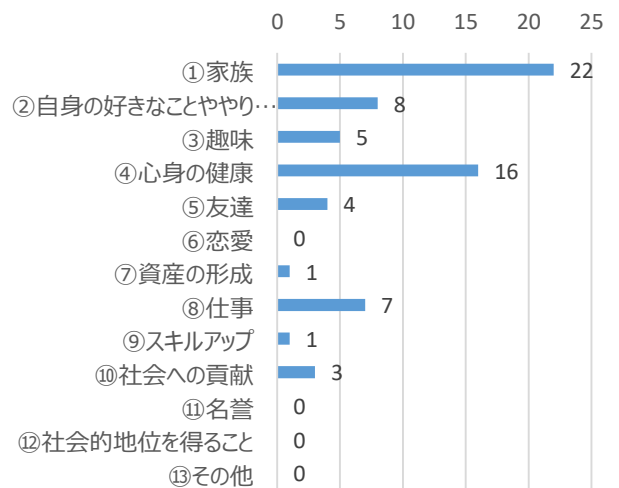
- ### I 回答者
- 参加者21名、見学者2名。男性19名（82.6%）、管理職17名（73.9%）であった。自身の子どもが0歳の時育児休暇制度の利用状況は、「利用した」3名（13.0%）、「利用しなかった」13名（56.5%）、「子どもはいない」7名（30.4%）であった。参加動機は、「職場の勧め」が10名（43.5%）、「イベントに興味があったから」が6名（26.1%）、「自分の立場を勉強したい」が4名（17.4%）、「市からの紹介」が3名（13.0%）であった。
- ### II 価値観
- 人生で大切にしたいと思っていることは、「家族」22人(95.7%)、「心身の健康」16人（69.6%）、「自分の好きなこと・やりたいこと」8人（24.8%）、「仕事」7人（30.4%）であった。
- ### III 産後パパ育休について
- 利用状況は、「全く利用していない」7名（30.4%）、「あまり利用していない」6名（26.1%）で、「概ね利用している」(21.7%)、「半分くらいは利用している」2名(8.7%)よりも多かった。
 - 「あまり利用していない・全く利用していない」理由としては、「職場の人員不足」9名（39.1%）、「自分の仕事を他の人に任せることができない」6名（26.1%）、「取得しづらい雰囲気がある」5名（21.7%）などが多く、「会社に制度が整備されていない・制度を知っている人が少ない」などの意見もあった。
 - 男性の家事・育児を促進するため、職場が特に取り組む必要があると思うものは、「代替要員の確保」が15人（65.2%）で最も多く、「休業者の業務を引き継ぐ職員への待遇（手当の支給等）」10名（43.5%）、「男性が育児休業を取得しない・できない理由の把握、状況の分析、改善」9名（39.1%）、「管理職からの男性の育児休業取得を促す 積極的な働きかけ」8名（34.8%）、などがあった。
- ### IV 妊娠・出産・子育てをしやすい社会になるために、政府に実施してほしい政策
- 「延長保育」8名（34.8%）、「教育無償化」「幼稚園、保育所、認定子ども園等の受け皿の整備・拡充」が各7名（30.4%）、「時間的・場所に柔軟な働き方の導入促進」6名（26.1%）、「出産・育児休暇からの復帰支援」「長時間労働の是正等の働き方の見直し推進」が各5名（21.7%）等で、子育てと仕事の両立のための政策を希望する声が多かった。
- ### V 今回のイベントの満足度
- 「大いに満足」18人（78.3%）、「多少は満足」5人（21.7%）で、満足度は高かった。理由としては、「楽しかった」「意見交換が勉強になった」「新たな学び・気づきの時間になった」「子育てにおいて注意すべきことが分かった」「自分の時代との違いを再認識できた」「子育てに大切なこと、情報なども学べた」などの声があった。
- ### VI イベントに参加しての意見(集約)
- ✓ 短い時間で学べ、newsの中身に共感することができた。いろんな人（子育てを終えた人にも）に参加してもらうことで、今回のような内容を知ってほしい。
 - ✓ 今後、社内研修・職場研修として実施するのもよい。
 - ✓ 目録から出てきた提案をぜひ実現してほしい。
 - ✓ 仕事や親の介護など、優先順位をつけるのも難しいが、子育てにおいてもしっかり対話することが大事。
 - ✓ 独身だが、育休を取りやすい雰囲気づくりに努めたい。
 - ✓ 各社連名で育休取得者の体験談など取りまとめて市から発信してほしい。（「こどもまんなか新居浜企業通信」的なもの）
 - ✓ 今後も各種団体などと連携して、このようなイベントを続けてほしい。
 - ✓ イベントの告知方法や対象となる層へのアプローチはもう少し踏み込んでよかったのではないかと感じた。参加してもらいたいターゲットがややあいまいになっているのではと感じた。
 - ✓ 少子化は昔から言われていたが、ようやく世の中が変わりつつあると思った。

質問 1 : 今回の「こどもまんなかクエスト2023」に参加した理由を教えてください。

- ・ 今後、職場でも活かせたらいいと思い参加した。
- ・ 職場の先輩から誘われて、子育てについて少し興味を持ったので参加した。
- ・ このイベントのことを聞いて参加。
- ・ 大量のLINEでのお知らせを読ませてもらって。
- ・ 市からの要請。
- ・ 自分の立場としての考えを勉強したかったから。
- ・ 職場の同僚からの勧め。
- ・ 人事の管理職として今後どうかかわっていくかを考えるきっかけをもつため。
- ・ イベントがあることを知ったから。
- ・ 産業振興課からの紹介
- ・ 会社の指示。
- ・ 職場の意向。
- ・ 会社の勧め。
- ・ 職場からの勧め。
- ・ にはま女性ネットワークへ情宣があり、自身の職場へ持ち帰れるものがあると思ったから。
- ・ 会社内のアナウンス
- ・ 職場の上司からお誘い頂いたため。
- ・ 職場で誘われたから参加しました。子供も成人しており、孫の面倒を見る可能性もあり、今の動向を知りたいと考え参加した。
- ・ クエスト形式で面白そうだったから。
- ・ 関心があるから。
- ・ 人事担当として参加してみたいと思ったから。
- ・ こどもまんなかクエスト2023って何だろうという興味から

質問 2 : あなたの人生において、大切にしたいと思っていることは何ですか。上位3つを選んでください。

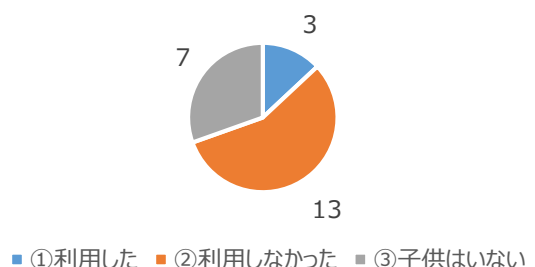
①家族	22
②自身の好きなことややりたいこと	8
③趣味	5
④心身の健康	16
⑤友達	4
⑥恋愛	0
⑦資産の形成	1
⑧仕事	7
⑨スキルアップ	1
⑩社会への貢献	3
⑪名誉	0
⑫社会的地位を得ること	0
⑬その他	0



質問 3 : 子どもさんがいらっしゃる方にお聞きます（男女とも）。あなたは、自身の子どもが0歳の時、育児休業制度を利用しましたか。

①利用した	3
②利用しなかった	13
③子供はいない	7

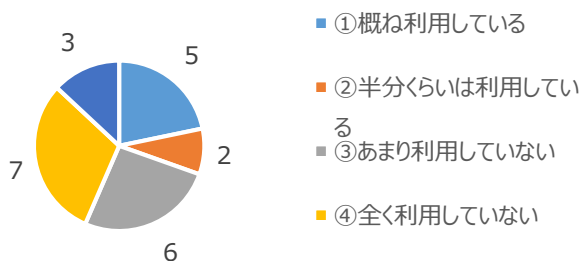
自身の育休制度の利用状況



質問4：令和4年10月から「産後パパ育休（※1）」の制度ができましたが、職場の対象者は利用していますか。

①概ね利用している	5
②半分くらいは利用している	2
③あまり利用していない	6
④全く利用していない	7
⑤わからない	3

職場での産後パパ育休の利用状況



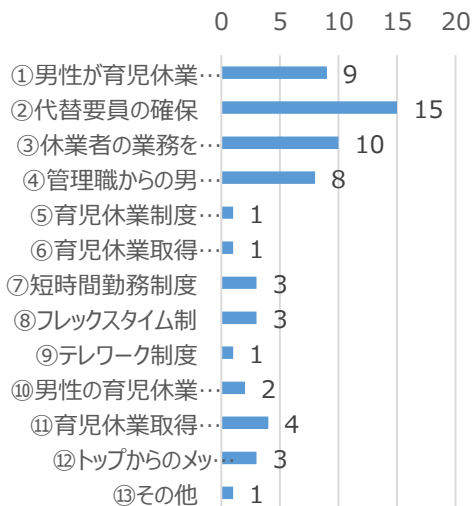
質問5：質問4で③・④と回答された方にお尋ねします。利用していない理由として、何が考えられますか（上位3つ）

①取得しづらい雰囲気がある	5
②職場の人員不足	9
③所得を下げたくない	2
④お世話をする人が他（祖父母など）にいる	2
⑤自分の仕事を他の人に任せることができない	6
⑥上司・会社幹部からの所得の理解が得られない	0
⑦昇進が遅れる	0
⑧会社に制度が整備されていない	1
⑨契約形態上、所得の権利がない	0
⑩仕事にやりがいを感じている	0
⑪休業中に仕事の能力が落ちると感じる	1
⑫パートナーや家族に育休所得の理解が得られない	1
⑬育児・家事が苦手である	0
⑭その他 ・会社や市の制度について知っている人が少ない ・そもそも該当者がいない	4



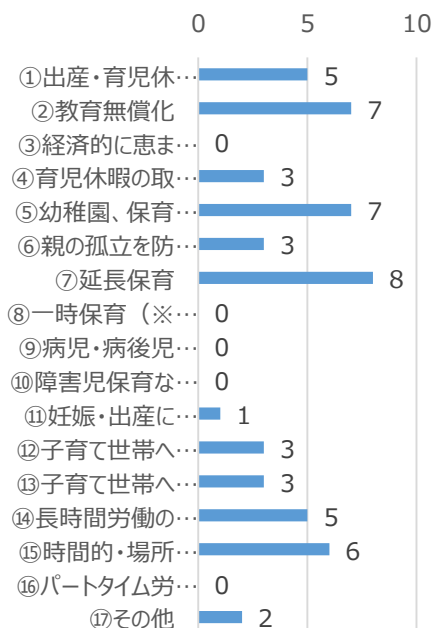
質問6：男性の家事・育児を促進するため、職場が特に取り組む必要があると思うものは何ですか（上位3つ）

①男性が育児休業を取得しない できない理由の把握、状況の分析、改善	9
②代替要員の確保	15
③休業者の業務を引き継ぐ職員への待遇（手当の支給等）	10
④管理職からの男性の育児休業取得を促す 積極的な働きかけ	8
⑤育児休業制度（有給）	1
⑥育児休業取得予定の早期申出の推奨	1
⑦短時間勤務制度	3
⑧フレックスタイム制	3
⑨テレワーク制度	1
⑩男性の育児休業取得促進に関する職員研修の実施	2
⑪育児休業取得者の意向を踏まえた復職後の職務内容の調整	4
⑫トップからのメッセージ発信	3
⑬その他	1



質問7：少子化への対応として、妊娠・出産・子育てをしやすい社会になるために、政府に実施して欲しい政策は何ですか。（上位3つ）

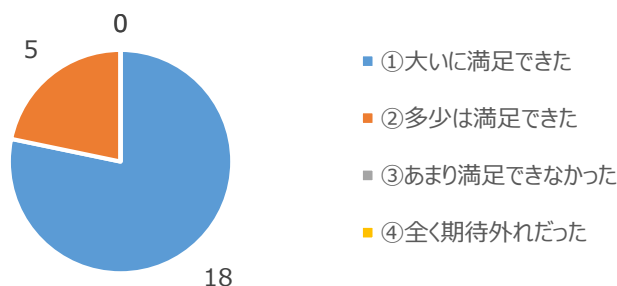
①出産・育児休暇からの復帰支援	5
②教育無償化	7
③経済的に恵まれない家庭の子どもなどに対する学習支援の充実	0
④育児休暇の取得促進	3
⑤幼稚園、保育所、認定子ども園等の受け皿の整備・拡充	7
⑥親の孤立を防ぐ支援の拡充（無料の子育て支援拠点の整備など）	3
⑦延長保育	8
⑧一時保育（※1）	0
⑨病児・病後児保育（※2）	0
⑩障害児保育など特別保育の拡充	0
⑪妊娠・出産に係る手当・補助金の拡充	1
⑫子育て世帯への手当・補助金の拡充	3
⑬子育て世帯への税控除・軽減	3
⑭長時間労働の是正等の働き方の見直し推進	5
⑮時間的・場所的に柔軟な働き方の導入促進	6
⑯パートタイム労働者の均衡待遇（※3）の推進	0
⑰その他	2



質問8：今回の「こどもまんなかクエスト2023」に参加して期待していたことはどの程度満足できましたか（どれか1つ）

①大いに満足できた	18
②多少は満足できた	5
③あまり満足できなかった	0
④全く期待外れだった	0
無回答	0

参加者満足度



質問9：上記の理由をお聞かせください。

- 楽しかったです。
- ゲーム形式で学べて楽しかったから。
- 子育てを経験していないので苦労はわからないが、今回のイベントに参加したことで、子育てにおいて注意すべきことを学べたのはよかった。
- 自身の子育ては終わっているが、自身の時代との違いを再認識できた。また会社の制度は知っているが、市の制度の理解不足を知るきっかけとなった。
- 参加者全員が素直にその思いをディスカッションできた。
- 子育てはずいぶん前に終わったから忘れていることが多い。
- 男性が育休をとる場合のすべきことが少しわかった。
- 小さな子を持つ立場として、歳や性別が異なる方たちと同じテーマで話し合いができて新たな学びがありました。人事という立場で今後は後輩たちの出産・育児と仕事の両立できることを考えていきたいです。
- いろんな話を聞いて、制度の説明もあって理解が深まった。
- 教材も工夫されており、わかりやすく、楽しめる内容だった。ゲーム性もうまくとりいれて、グループワークがしやすいと感じた。
- どちらが正解等というわけではなく、班の中で様々な意見を聞くことができた。今後の自分の立場の中ですべて参考になることや考えさせられることがあった。
- 他の人の意見を聞きながら子育てに取り組むのはプラスなことが多いと感じる。

質問9：上記の理由をお聞かせください。(続き)

面白かったです。いろんな意見を聞けたこと。人脈が広がった。

自分の感覚だけでなく、チームメンバーの選択を見ることで新たな発見があった。

選択カードもとても絶妙で本気でこどもにとってどちらがいいのかを考えることができた。具体的な事例があったので自分は子供がいながらリアルに考えることができた。

いろんな意見を聞けたから。

子育てに関わる会員の配慮、気遣いがないと難しいことが多いと思った。周りの人の1人として意識していきたいと思う。

RPGが楽しくできたこと。過去に自分が言われていたことは優先度が下がっている等、今の状況を知ることができた。年齢、職業が様々な方と話し合うことができた。子育てが終わりに近づいているが、忙しかった当時のことを思い出しながら楽しく過ごせました。

楽しく学べたから。

違う職場の方と真剣にお話ぐできました。また気づきの時間が得られた。制度ではない、子育てに大切なことを学んだ。

家庭においても職場においても感じさせられることが多かった。

子育てしやすい環境を整備しようとする動きに触れられてよかったと思います。

質問10：「こどもまんなかクエスト2023」を通して、感じたことをご自由にご記入ください。

短い時間の中で学べる内容があったと感じる。

ロールプレイングを通じて学べたので楽しく参加できた。一方でイベントの告知方法や対象となる層へのアプローチはもう少し踏み込んでよかったのではないかなと思う。参加してもらいたいターゲットがややあいまいになっているのではと感じた。

企画された方、お疲れさまでした。どういったものになるのかわからないままでしたがよい経験になりました。

今後も各種団体などと連絡してこのようなイベントを設けてほしい。

子育て中の方の意見が聞けて良かった。

点数が高いカードを選ぶことはできるが、実際に行動に移せるかはわからない。

newsの中身に共感することができました。

ぜひ続けてください。

学んだことを会社に持ち帰り、今後の社内研修なども実施できたらと思います。楽しい気付きを与えてくださり、ありがとうございました。

職場の研修の一環として実施するのもよいと思う。

子供にとっての豆知識や制度など、すごく知らないこともあって、いろんな人にもこの内容をしてほしいと思いました。答えがじっくりこないものもあり、解説してほしいものもあった。

同じようなイベントを開催したらいいと思った。

目録から出てきた提案をぜひ実現してほしいです。

子供をまんなかにおいて考えることの重要性をよく理解できました。実際には自分の職場や親の介護があったり、優先順位をつけるのも難しいですが、子育てにおいてもしっかりみんな対話することが大事だと思いました。ありがとうございました。

もっと多くの人と昔の感覚で子育てを終えた人にも、参加してもらうことで今後の育休制度への知識や理解を深める機会にできればなおよい。

独身のため、子育てについて考えたことはなかった。意識していないと子供中心ではなく、仕事等別のことが中心になってしまう。職場などで子育てしやすい、育休を取りやすい雰囲気づくりに努めたいと思う。

少子化は昔から言われていたことですが、ようやく世の中が変わりつつあると思いました。

各社連名で育休取得者の体験談など取りまとめて市から発信してほしい。「こどもまんなか新居浜企業通信」的なものの。

こどもをまんなかにするためには社会全体で取り組む必要があると感じました。

参加者はそれぞれ興味を持たれているようで、こどもまんなかが社会に浸透しつつあるように思った。ゆうまおうがライフマップはもっと大きいほうがよい。字も大きくしてほしい。